



巨大地震・津波が発生したら…

手順④ 巨大地震が発生した時の災害リスクを確認する



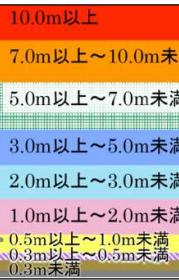
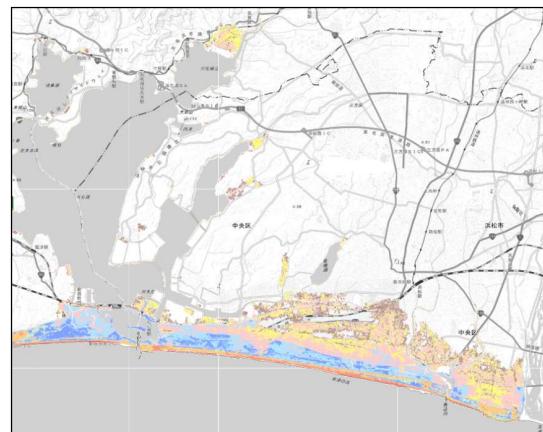
地震 巨大地震の時には最大で「震度7」の揺れが来ます。



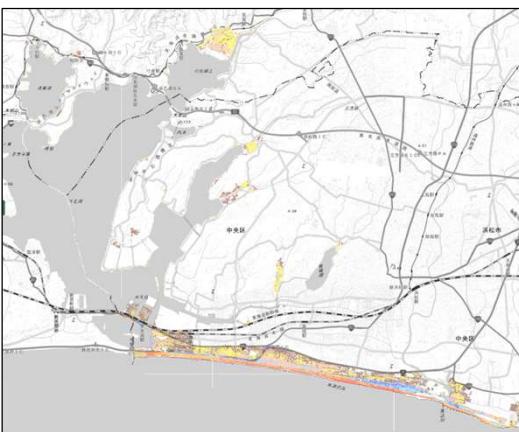
- ・自宅に、津波が「来るのか」、「来ないのか」
- ・自宅に来ない場合は、市内でどこまで津波が来るのか

を「津波浸水想定区域図」で確認しましょう。

<津波浸水想定区域図(防潮堤整備前)> (南海トラフ陸側レベル2)



<津波浸水想定区域図(防潮堤整備後)> (南海トラフ陸側レベル2)



山折り

ガイドに沿ってこれを
つくっていくのじゃ!



※防潮堤整備後の浸水想定区域図は、浜松市沿岸域防潮堤、馬込川水門等の施設が最大限効果を発揮した場合を仮定して検討したものであり、防潮堤整備により浸水しなくなると想定した地域においても津波による浸水の危険がなくなるということではありません。



津波は遠州灘沿岸部で約20分、奥浜名湖付近で約60分後に市街地に流入します。
より詳細な情報は、「浜松市防災マップ」等で確認することができます。

手順⑤ 「避難のタイミング」、「避難先」を確認し、記入する

津波が来る場合

津波が到達するまでに、たどり着くことができる「避難先※」に避難します。

➤ 到達時間と避難先を、「わたしの避難計画」に記入しましょう。

津波が来ない場合

自宅が危険な場合は、あらかじめ決めておいた「避難先※」に避難します。

➤ 避難先(集合場所)を、「わたしの避難計画」に記入しましょう。

*緊急避難場所、津波避難ビル等が分からぬ場合は、「浜松市防災マップ」等で確認しましょう。

目次

大雨の時 (河川氾濫の危険・土砂災害の危険)

手順① 避難に時間がかかる人がいるか確認する 1ページ

手順② 自宅の災害リスクを確認し、記入する 2ページ

手順③ 「避難のタイミング」、「避難先」、「情報収集手段」を確認し、記入する 3ページ

巨大地震・津波が発生したら…

手順④ 巨大地震が発生した時の災害リスクを確認する 4ページ

手順⑤ 「避難のタイミング」、「避難先」を確認し、記入する 4ページ

「わたしの避難計画」見本

メモ欄
～作成ガイドで確認したことメモしておこう～

大雨の時

河川氾濫の危険がある場合
（河川氾濫のおそれがある）

●避難に時間がかかる人がいるか
いる（2人）
いない

●避難に支援が必要な人がいるか
必要
支援してもらう人：
_____さん

【手順①②】

●避難のタイミング
高齢者等避難が発令されたら

●避難先
叔母さんの家

巨大地震の時

自宅に津波が来る地域
●避難のタイミング
強い揺れが収またらすぐに
または
強い揺れを感じなくても
津波注意報や津波警報
大津波警報が発令されたら

●避難先
地震発生から
15分以内に
指定避難所(浜松小学校)

【手順③】

自宅に津波が来ない地域
●避難のタイミング
自宅が傾いたり、壁や天井に大きな亀裂が入りたりして危険な場合など、自宅が危険な時

●避難先(集合場所)
自由記載欄(持ち出し品や、家族や親戚の電話番号など)
避難所へ行くときは
・くすりを忘れずに持っていく
・東京のおじさんの電話番号は 03-123-4567
・引いた箱の持ち出し袋を持っていく
災害に備え、週間分の水、食料、生活必需品の備蓄をしましょう。

パソコンやスマホでも、
作成できます。(オススメ!)



手順① 避難に時間がかかる人がいるか確認する

避難に時間がかかる人がいる場合

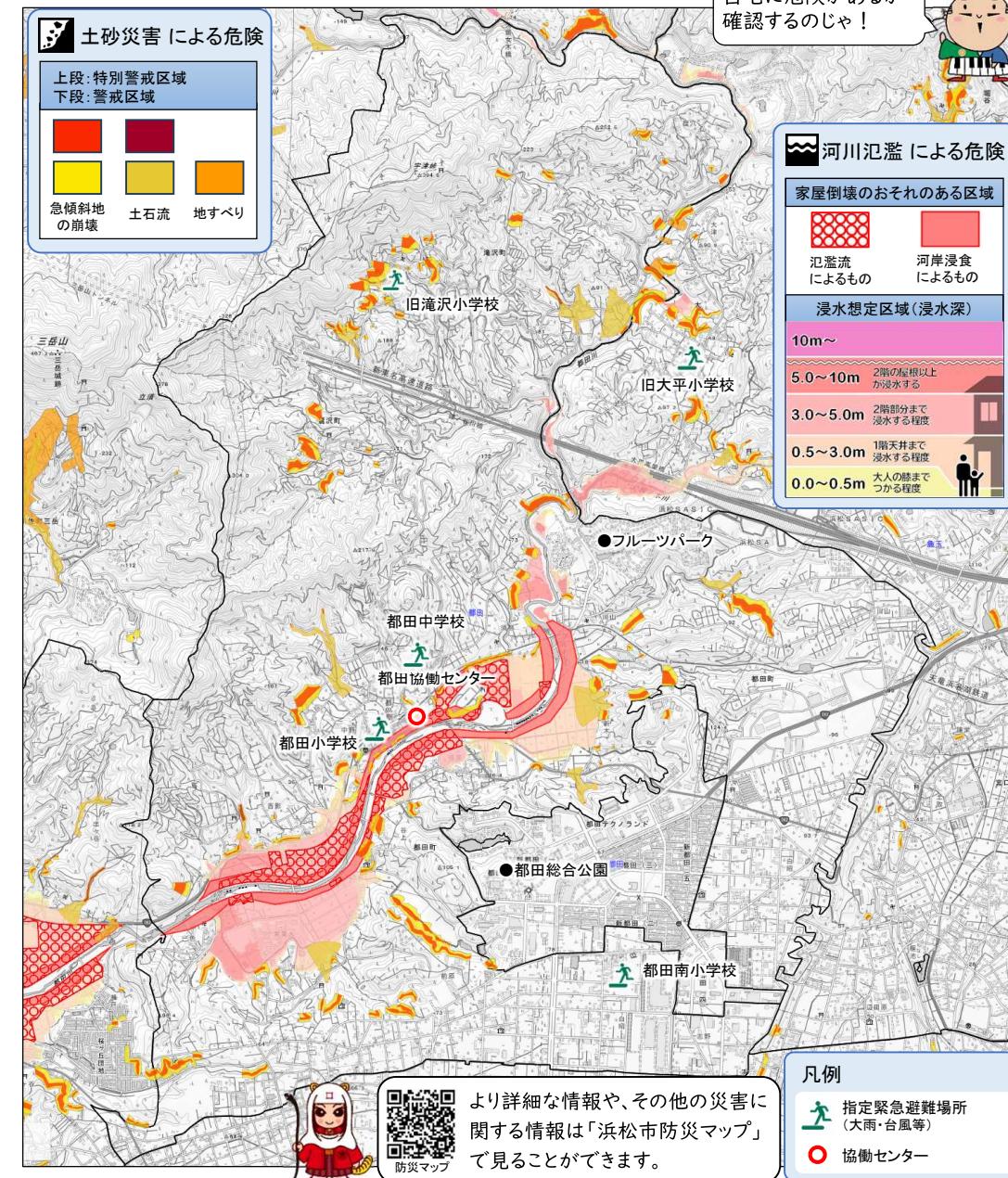
- ・避難するタイミングは「高齢者等避難」となります。
- ・避難に「支援が必要な方」は、支援してもらう方を決めてお願いしておきましょう。

➤ 確認した内容を「わたしの避難計画のメモ欄」に記入しましょう。

手順② 自宅の災害リスクを確認し、記入する

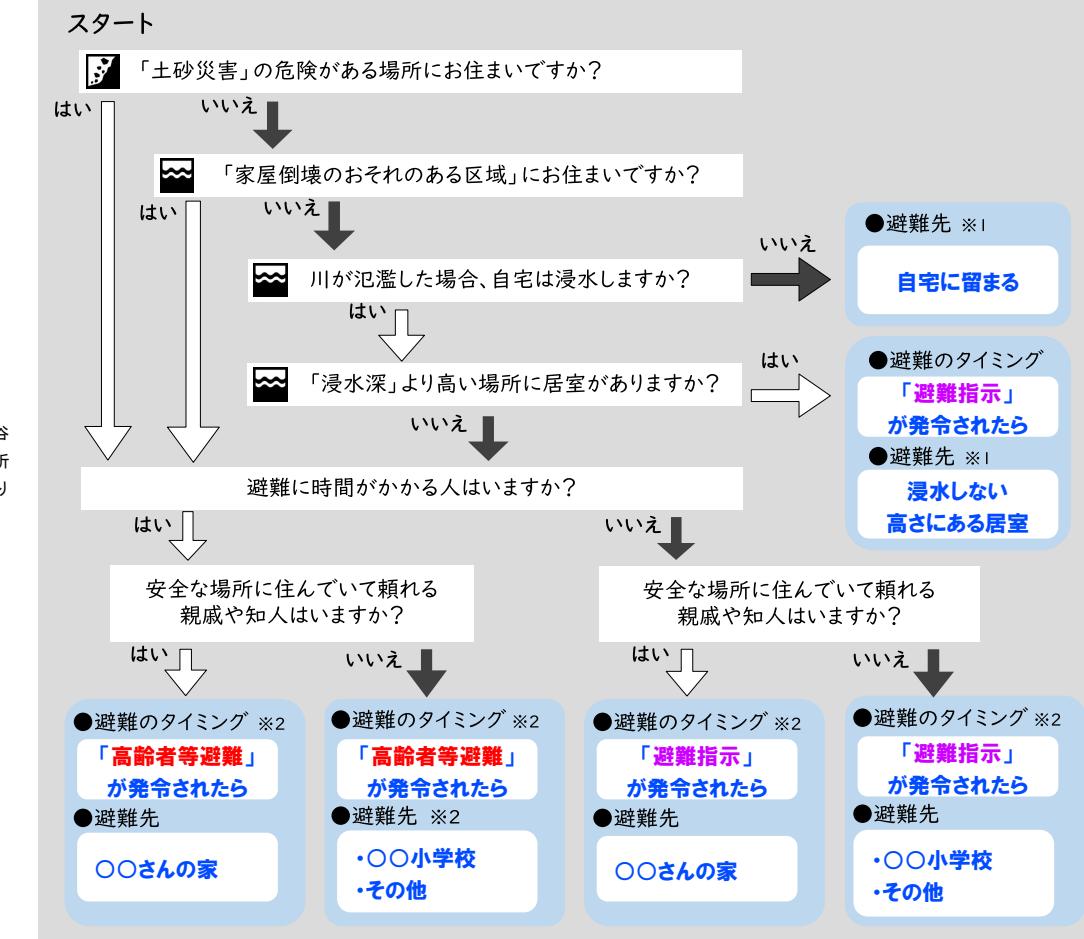
- 下のハザードマップで、家屋倒壊や浸水、土砂災害のおそれがある地区に住んでいるかを確認し、「わたしの避難計画のメモ欄」に記入しましょう。

<都田・新都田地区水害ハザードマップ>



手順③ 「避難のタイミング」、「避難先」、「情報収集手段」を確認し、記入する

- ①矢印をたどって、避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう。



- ①「情報収集手段」を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう。

【避難情報や避難所の開設状況】



【気象情報や河川水位情報】

